

学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川 児童事業本部

至誠学園 至誠大地の家 至誠大空の家
ワークセンターまことらぶ

平成26年9月1日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://www.shiseigakuen.org/>

Email: info@shiseigakuen.org

発行 児童事業本部 広報委員会



4月29日(祝) 子どもたちの健やかな成長を祝う
ガーデンパーティーを開催しました
たくさんのお友達やボランティア・関係者の皆様とお祝いしました



子どもたちは、夏休みをボーイスカウト・ガールスカウトのキャンプ、学校のクラブ活動、東京都児童福祉施設スポーツ大会の野球とドッジボール、三多摩大会では野球とバレーボールにそれぞれ参加しました。そして学園はグループごとの勝浦の別荘での臨海、大地の家は八ヶ岳、大空の家は河口湖で全員参加の行事を多くの方々の協力を得て無事に終えることができました。また、児童事業本部では東北被災地への継続支援事業として、今まで施設訪問やボランティア、共同募金会のご助成による生活支援のための住居の用意、バザーの義援金を贈る活動などをしてきました。今夏は、8月1日～7日に「東京の夏を楽しもう」プロジェクトを企画し、東北から10名の子どもたちと職員を迎え夏期講習、大学のオープンキャンパス、厚生省

訪問、都内めぐりなど充実した日々を楽しみました。

一方、私は昨年9月より厚生労働省の社会福祉法人の在り方等に関する検討会に委嘱を受け構成員として出席しました。12回にわたり議論を重ね本年7月に報告書が出されました。特に介護保険による高齢福祉事業や保育所経営が焦点となりましたが、社会福祉法人の使命や社会貢献等その機能に対する議論も多かったです。児童養護施設は措置制度による法人経営ではありますが、今後は、子どもたちの虐待等子どもが育つ環境の問題が深刻化する中で地域社会の児童福祉専門機関として法人機能の重要な課題として取り組む必要を感じています。

社会福祉法人至誠学園立川理事長・至誠学園統括学園長
高橋利一

平成 25 年度 事業報告 児童事業本部 (至誠学園・大地の家・大空の家・まことくらぶ)

■事業概要

児童福祉法による児童養護施設 3 施設と障害総合支援法による就労継続支援事業 B 型 (非雇用型) 1 事業「ワークセンターまことくらぶ」からなる児童事業本部ですが、平成 25 年度は 3 番目の児童養護施設「大空の家」の開設と児童養護施設「大地の家」のグループホーム 1 ホームの開設がありました。また、児童養護施設「至誠学園」では、適正規模計画に基づき 1 グループホームを廃止し本体施設と 6 グループホームで 68 名、「至誠大地の家」は本体施設と 2 グループホームで 38 名、「至誠大空の家」は本体施設のみで 30 名、「ワークセンターまことくらぶ」は 20 名の定員となっています。

児童事業本部の基幹的な施設である「至誠学園」は国の方針である小規模化 (ユニット化) に加えて長期の養育が求められるケースが多く、高齢児童が多いこと、特別な支援を要する児童が多いことから、数年来の財政的、運営的な負担が増大し、この解消が急務の課題となった年度でした。

長年の実践からカテゴリー化し新設した「至誠大空の家」は、小規模施設、新設施設の利点を活かし施設長の采配のもと入所児童とその家族の満足度を満たし近隣の皆様とも良好な関係を保った運営ができています。「至誠大地の家」では早期家庭復帰を目標に入所児童の家族との交流に努力し成果を上げています。「ワークセンターまことくらぶ」は、次年度の消費税の改定に備えての作業が年度末にありましたが、次年度から実行する障害者のショートステイ事業の準備をいたしました。また、法人全体の事業になっている中長期計画を事業本部でも取り組んだ年でした。この中長期計画は本年度と次年度で計画を策定することになっています。

児童事業本部長 小山廣重

■平成 25 年度 決算報告

(平成 26 年 5 月理事会にて認定/単位: 千円)

	本部会計 (児童事業本部分)	至誠学園	至誠大地の家	至誠大空の家	ワークセンター まことくらぶ	合計	
収入	国及び都からの補助金	0	388,286	284,138	152,778	43,018	868,220
	寄附金収入	29,348	5,011	2,850	5,118	81	42,408
	雑収入等その他の収入	8,601	9,165	4,972	3,231	74	26,043
	積立金取崩収入	21,070	18,880	0	0	0	39,950
	繰入金収入	0	7,000	0	17,000	0	24,000
	借入金収入	10,000	0	0	0	0	10,000
	計	69,019	428,342	291,960	178,127	43,173	1,010,621
支出	経常的支出	42,200	401,080	241,413	122,562	47,581	854,836
	施設設備等整備支出	0	3,287	11,913	28,967	242	44,409
	借入金返済支出	8,981	19,141	6,250	0	0	34,372
	繰入金支出	26,400	0	0	0	0	26,400
	積立金支出	0	0	30,000	20,000	0	50,000
	その他の支出	0	0	0	0	286	286
計	77,581	423,508	289,576	171,529	48,109	1,010,303	
当期繰越金	△ 8,562	4,834	2,384	6,598	△ 4,936	318	

■福祉サービス第三者評価結果

至誠学園 (実施機関) 株式会社 IMS ジャパン	
特に良い点	1. さまざまな経路から子どもの意向を把握するとともに、しっかり聞いているか自己反省も行っている。 2. 子どもの生活プログラムの充実を図り、日常生活や非日常生活を豊かに展開していくよう努めている。 3. 地域社会と良好な関係を築き、学園の子ども達は地域の子とも達と共に成長する事が出来ている。
さらに改善が望まれる点	1. 「職務マニュアル」の効果的な活用を検討されることに期待したい。 2. 新人を大切に育てる仕組みの骨格はかなり整備されてきたので、今後はチューター制度の精度をさらに高めることに注力してはかがらう。 3. 子どもへの性教育の具体的な取り組みを一層推進する、性教育プログラムの検討と実施に期待したい。
至誠大地の家 (実施機関) 株式会社 IMS ジャパン	
特に良い点	1. 創設者の指導理念および施設運営の基本を、具体的養育方針や職員の姿勢等に落とし込み会議や委員会活動を通して浸透を深めている 2. 「共に子育てをしましょう」と保護者に呼びかけ、親族にもその思いを共有してもらうよう努めながら、家族再統合を積極的に進めている 3. 積極的に外の目を入れ透明性を高めるとともに、地域との交流に力を入れ地域の人たちの関心・理解を深めるよう取り組んでいる。
さらに改善が望まれる点	1. 「拡大企画調整会議」を有効に活用するため、どのような場合に会議を招集するのか明確に決めておくと思われる。 2. 各ホームの「まとめ役」を役職として明確に位置づけ、職務分掌・権限を明示して職員に周知することが望まれる。 3. 子どもに関する書類について、計画→実行→評価→改善という P D C A サイクルの視点を重視した記録の取り方をより徹底すると良いであろう。

平成 26 年度 児童事業本部の主な活動

■児童事業本部各施設の新任職員辞令交付式

四施設の新任職員を迎えて辞令交付式が行われました。



■ワークセンターまことくらぶの新年度式 4月1日(火)

まことくらぶの会員とスタッフ全員が今年度の目標と決意を述べスタートしました。

■ガーデンパーティ開催 4月29日(昭和の日)

『みんなで笑顔のカーニバル』をテーマにボランティアや地域の方々と児童福祉週間の行事として恒例のガーデンパーティを開催しました(表紙写真)。

■ラグビー教室

5月10日(土)

ゴールドマン・サックス、慶応義塾大学ラグビー部によるラグビー教室にご招待。タックルやパスワーク、ゲームも体験しました。



平成 26 年度 児童事業本部事業計画

1. 重点推進項目

1. 児童養護施設3施設の各々のコンセプトの展開と一体的経営の充実
2. グループホーム配置の適正化(サンライズ計画)の推進
3. 法人の「新たな世代の羅針盤」を受け事業本部の中長期計画策定
4. 国・東京都の新たな制度施策の変化に柔軟に対応
5. アフターケアの充実
6. ファミリーホームの設置に向けて準備

2. 継続項目

1. 児童事業本部体制の充実
2. 障害者自立支援
3. モンテッソーリ立川子どもの家(園内保育室)の充実
4. 児童館トムソーヤの森(園内児童館)の充実
5. 中高生への自立支援の推進
6. 財源基盤の構築
7. 情報公開(各施設)
8. 地域子育て家族支援
9. 人材育成事業の推進
10. 東日本大震災被災地等の児童の支援、交流事業
11. ITを利用した事業の推進
12. 至誠学園児童福祉研究所

■アートワークショップ

6月14日(土)

今年もゴールドマン・サックスと子ども地球基金の皆様子どもたちと「アートワークショップ」が行われました。



■サンデーマーケット

7月6日(日)

天候に恵まれ錦六子ども会の七夕行事など関係団体の出店もありにぎやかに開催されました。多くの皆様のご協力に感謝します。



■古谷野薫先生「瑞宝単光章」受章を祝う会

6月28日(土)

至誠大地の家副施設長の古谷野薫先生が、永年児童養護施設職員として多くの子どもたちの自立や家族支援に尽力してきた功績を称えられ、平成26年春



の叙勲にて瑞宝単光章を受章されました。大地の家の子もたちを中心に大学時代のご友人や元同僚、里親さんなど多くの方々がお集まりになりお祝いをしました。

児童事業本部の今後の主な活動(～12月)

- | | |
|-----------|--------------------|
| 8月～11月 | 平成27年度職員採用説明会・採用試験 |
| 10月11日(土) | 至誠合同バザー(会場:至誠ホーム) |
| 11月8日(土) | 運動会(立川ライオンズクラブと共催) |
| 11月13日(木) | 児童虐待防止月間セミナー |
| 12月7日(日) | ウィンターバザー |

児童虐待防止月間セミナー

第11回 児童虐待防止月間記念セミナーを開催します。今年では子どもの権利条約批准20周年にあたり、児童虐待の防止等に関する法律が施行されて14年目となります。

テーマ:「児童虐待予防のコミュニティづくり」

日時:11月13日(木)14:00～17:00

開場:13:30

会場:たましんRISURUホール(立川市市民会館)

内容:児童福祉やコミュニティづくりにかかわる関係機関の方々を講師に招きシンポジウムを行います。

がくえん（児童事業本部）の近況 —子どもたちの生活や活動の様子—

子どもの日の会（5/5）

トランポリンや工作などいろいろなコーナーで遊んだあと、みんなでやった水風船キャッチゲームでは、小さな子から高校生、職員までとても盛り上がりしました。今年も素敵な特別注文の大きなケーキのプレゼントをいただきました。



子どもの日の会

子どもたちの自治会活動

昨年度より、自治会長の高校生Mさんと執行部の5名の中高生が中心となって、子どもたちの意見表明、自主的な活動の場として、月1回各ホームの代表者が集まる「代表者会議」と、「執行部会議」を行っています。

子どもたちの中から「お小遣いの金額をあげてほしい」という声があったことから、「お小遣い」をテーマに、まずは自分たちの生活に関わるお金について調べてみよう、と、経理職員に話を聞いてみたり、全児童、職員を対象にアンケート調査を行いました。7月に行われた総会では、子ども達自身がお小遣いを使うにあたり工夫していること、職員はどのような思いで

母の日（5/11）・父の日（6/15）

母の日、父の日に子どもたちが職員に日頃の感謝をこめてたのしいゲームを交えてのお茶会、夕食会を開いてくれました。卒園生のT君、S君、I君のサプライズ訪問もあり。子どもたちの優しさに嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

至誠学園

お小遣いを使ってほしいと考えているのか、お小遣いの全国平均はどれくらいなのか、等のアンケートで出た意見を発表しました。

ヘアースタイルボランティア ボウルームさん

昨年度までお世話になっていた、さくらグループのメンバーの方の息子さんの働く美容室の方達が、新たに子どもたちのカットにいらしていただけることになりました。

アートクラブ

至誠サイエンスクラブのメンバーでもある森あけみ先生のご指導の下、金曜日にアートクラブの活動が始まりました。



母の日・父の日の会 ピラミッドの頂上は学園長



アートクラブ



散髪ボランティア

開設から一年が経ちました

4月で開設から1年を迎えた大空の家ですが、3月には最初の卒園生を送り出しました。大空の家の卒園式は「大空へはばたく会」と題して、子ども達と手作りのアットホームな会となりました。年度の切り替わりにはいよいよ全てのホームがオープンし、7月現在で29名の子ども達が生活するまでになりました。

子ども達の人数が増え、生活にも徐々に慣れてきたことから今年度から「大空子どもの会」の活動も本格的に始まりました。子ども達が主体的に自分たちの生活をより豊かにするために、毎月の定例会を軸に、行事企画、旅行、生活環境、畑経営の4つの事業本部が中心となり、生活の充実を図っています。



大空子どもの会

近隣の方々と一緒に畑づくり

畑作業については昨年からの継続的に近隣の皆様と交流しながら作業を行っています。春から夏にかけては本格的に行い、夏野菜の苗植えから、稲のプランター栽培、草取りに収穫まで、子ども達と楽しみながら進めています。

至誠大空の家

サンデーマーケット

7月に開催された至誠学園サンデーマーケットでは、子どもたちが企画して大空の家のお店を出店しました。行事企画本部が中心になり子ども達の意見を集約し、出店の準備から当日の販売までそれぞれができることを協力して行いました。



畑づくり



サンデーマーケット

子どもたちの主体性を育てる大地の家の生活

大地の家には、現在1歳から小学6年生までの36名の子ども達が生活しています。子ども達が主体的に生活することや活動に取り組むことを目標としています。例えば、おやつ作りや夕食作りの手伝いを職員と一緒にに行います。子ども達自ら「やりたい！」と積極的に取り組み、幼児さんでも子ども専用の包丁を使って上手に野菜を切ることができます。また、たんぼぼホーム（一番小さい子たちが生活するホーム）では、子ども達と一緒に毎月手作りのカレンダーを作成しています。折り紙を折ったり切ったり、子ども達は真剣に取り組む、みんなで協力して作ります。



6月のカレンダー

洗濯物のしわをしっかりと伸ばすことや食器の汚れをしっかりと落とすことなどにも気をつけてくれます。子ども達の「やりたい」という気持ちを大切にすることによって好奇心や活動への意欲を育て、完成出来たものを一緒に共有することによって達成感や協調性を獲得し、自己肯定感を育むことを目標にしています。

至誠大地の家



小学生の放課後プログラム「大地チャレンジ」の開設式



大地の家 夏の名物 流しそうめん大会！



庭で遊ぶ子どもたち

情操活動にも積極的に参加しています

月2回の舞踊では秦野旬子先生の指導の下、音楽に合わせて身体を動かすことによって様々な情景を表現します。それぞれの個性に合わせて思い思いに自由に表現しています。歌と遊びの広場では印牧由規子先生が手遊びうたや昔ながらのゴム跳びや大縄など身体を使った遊びを教えてくださいました。子ども達は楽しく元気に歌ったり、“はないちもんめ”や“あわぶくたつた”などの遊びを「もう一回やろう！」と飽きずに何度も楽しんでます。こうした活動が子ども達の内情や表現力を育みます。子ども達だけでなく職員も一緒に身体を動かしたり歌を歌ったりして毎日楽しく過ごし、大地の家には常に歌声や笑い声が響いています。

森永製菓鶴見工場に行ってきました！

ワークセンターまことくらぶでは、クッキーや焼き菓子の製造販売をしています。そこでお菓子の事をいろいろ勉強したいと至誠学園後援会会長の佐々木様にお取り計らい頂き、森永製菓株式会社鶴見工場の見学にみんなで行きました。

ワークセンター まことくらぶ

当日はバスで、工場までの道のりは新宿高層ビル街の成り立ちや六本木の地名の由来についてなどの話を聞きながら向かいました。工場に着くと可愛いキョロちゃん（写真左）が皆を出迎えてくれました。早速記念撮影をしたあとは、ホールに案内してもらい、冷たいココアを頂きながら、森永製菓の歴史や商品説明の映画をみました。そしていよいよ工場見学！とても素敵なガイドの方について2グループにわかれて見学をしました。

鶴見工場ではハイチュウや小枝、ダースチョコレートを主に作っていて試食を頂きながら、工場の様子を見学しました。工場ではエアシャワーや全自動手洗い器なども体験し、衛生にとっても気をつけていることや、工場内がきれいに整理整頓されている様子を見て、まことくらぶでも改めて気をつけていこうと、感想がでました。とても楽しく有意義な1日でした。

森永製菓工場見学



後援会からのお知らせ

平成 26 年度第一回役員会が開催されました

日時 平成 26 年 6 月 7 日(土) 午後 6 時～ 8 時

会場 至誠かしの木プラザ会議室

平成 25 年度事業報告

- ・ 至誠学園かしの木プラザホール床暖房助成金 200 万円
- ・ 卒園生へお祝い金 2 万円× 6 人 12 万円
- ・ 学園主催の啓発活動への後援・協力：虐待防止セミナーの後援、ガーデンパーティ、バザー、運動会、クリスマス会、卒園式等

平成 25 年度決算報告(2013 年 4 月 1 日～ 2014 年 3 月 31 日)

- ・ 会費納入者 258 名

	項目	予算	決算
収入	繰越金	378,125	378,125
	後援会会費	2,500,000	2,148,000
	利息		70
	合計	2,878,125	2,526,195

	項目	予算	決算
支出	学園寄附金	2,500,000	2,000,000
	卒園生祝い金	100,000	120,000
	郵便振替料金		23,130
	切手・領収書代		20,000
	予備費	278,125	0
	次年度繰越金		363,065
	合計	2,878,125	2,526,195



舞踊の練習など冬でも子どもたちが快適に活動できるかしの木プラザホール全面床暖房工事が完成

平成 26 年度事業計画

本年度も役員一同、同じメンバーで昨年同様会員寄付者の拡張、施設整備、災害用備蓄食糧庫の設備及び自立する高校卒業児童への祝い金等を予定しています。

平成 26 年度予算(2014 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日)

	項目	予算	概要
収入	繰越金	363,065	
	後援会会費	2,500,000	
	合計	2,863,065	

	項目	予算	概要
支出	学園寄附金	2,500,000	
	卒園生祝い金	100,000	@ 20,000 × 5 人
	郵便振替料金	25,000	
	切手・領収書代	20,000	
	予備費	218,065	
	合計	2,863,065	

サンデーマーケット実施報告

7 月 6 日(日)は、好天にも恵まれ多くの方々のご協力、ご来場をいただき、盛大に「サンデーマーケット」を開催することができました。来場された方々のアンケートには「楽しかったです。また来ます。」「子どもの遊べるコーナーもあり、にぎやかで楽しかったです。」など梅雨の晴れ間の一日を楽しんでいただいた声も多くいただきました。

また、会場には「錦六子ども会」の『七夕祭りコーナー』も開設され、ささ飾りが風に揺れ厳しい暑さのなかにもほっとする和やかさを感じさせていました。

品物のご提供やご寄付金、そしてボランティアとして準備から当日の販売、片付けまで多くの方々のご協力に心より感謝申し上げます。

■サンデーマーケット収支報告

売上 合計	717,386 円
ゲーム・福引 他	117,750 円
飲食模擬店	279,090 円
物品 その他	247,286 円
食券	35,000 円
出店団体協力金	38,260 円

経費 合計	276,511 円
模擬店食材料費	149,171 円
ボランティア経費	73,500 円
会場設営等材料費	53,840 円

ご寄付金 合計 255,000 円

サンデーマーケット収支 695,875 円

毎年、多くの方々から後援会費をご送金いただき、心より感謝を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

名誉会長：三田鶴吉 会長：佐々木信孝 副会長：浅見義明
理事：高橋利一、小山廣重、師岡恵美子、小川庄二、名取種子、長谷川照代、西村一夫

会計：渡辺道子、会計監査：杉田英一、高橋久雄

事務局：高橋久美子、林啓子

顧問：青木徳祐、岩崎浩三、土井智生、丸本大、矢野雄一

■会費の納入は下記の口座にて承ります。すでにご入金いただいている方には、重ねてのご案内を失礼いたします。

<郵便振替口座>

口座番号 00140-2-356681

口座名 至誠学園後援会

<銀行口座>

三井住友信託銀行立川支店(銀行名変更)

口座番号 普通 7902588

多摩信用金庫錦町支店

口座番号 普通 0269785

口座名 至誠学園後援会

<連絡先> 至誠学園後援会事務局

立川市錦町 6-26-15(至誠学園) TEL 042-524-2601

子どもたちの海外交流

海外からの研修生

今年も全社協国際部のアジア社会福祉従事者研修に参加している研修生、韓国の李政恩さんを4月7日から7月2日まで受け入れました。前半は法人の各施設での活動を幅広く体験し、後半は学園のゲストルームに宿泊し3つの園で2週間ずつ子どもたちとの生活をとおしたプログラムを体験してもらいました。

ライオンズクラブ（LC）YEプログラム

7月6日から8月9日まで、アメリカからイーサン・ヤング君（18歳）が学園にホームステイをしました。（7/20～8/3はLCのキャンプに参加）七夕や盆踊り、茶道体験、秋葉原散策、講道館柔道など日本文化を楽しみむと共に子どもたちや職員との交流を深めました。



事業本部役職員と李さん



職員レクに参加したイーサン君

東北支援「東京の夏を楽しもう」

8月1日から7日まで、東北地方の児童養護施設と里親家庭で生活する10名の子どもたちと職員の方々に参加しました。初日は学園の園庭で歓迎夕食会、2日と4日は、かしの木ホールで学園の子どもたちと一緒に学習塾 ena の講師の方々による夏期講習に参加しました。

3日の日曜日は共立女子大学のオープンキャンパス見学と原宿散策を楽しみました。人ごみにはとても疲れたそうです。5日は厚生労働省訪問、テレビ朝日の夏祭りと局内見学、6日はディズニースクエアを満喫しました。

充実したプログラムにみなさんとても満足していました。

ボーイスカウト活動

今年もガーデンパーティのために根川に丸太を組んだ橋を架けました。スカウトたちは太い丸太をロープで縛り完成した立派な橋にとっても満足げでした。

ガールスカウト東京都158団 発団35周年記念

ガールスカウト東京都第158団は、昨年発団35周年の永続章をガールスカウト東京都連盟より表彰されました。平成26年2月23日立川市錦児童館でお祝いの会を開きスカウトと共にお祝いしました。



卒園生のK君が結婚

オープンカーで町をパレードする幸せいっぱいの二人に沿道の方々からも祝福の拍手が贈られていました。



地域との交流

錦六子ども会

7月19日、20日至誠学園と至誠大地の家がある町内会（錦六会）で盆踊り大会が行われました。残念ながら両日とも雨天でしたが、悪天候にも関わらず浴衣を着て会場に集まってくる子どもたちの様子からは、町会の活動を本当に楽しみにしている様子が伝わってきました。

子ども会には園の子どもたちだけでなく、毎年職員が役員として参加し年間を通して子ども会行事の運営にも携わり、地域との連携に一役買っています。



町会盆踊り



諏訪祭に町会の山車が巡行

「児童館のとある一日」

「こんにちは！」と元気よく挨拶をして入ってくる子、黙って入ってくる子、子ども達は様々な気持を抱えて児童館へやって来ます。仲間や職員とのあそびや活動を通して気持ちを満たすと、満足そうな顔で「さようなら」と挨拶をして帰っていきます。子ども達はあそびを通し、心と心の交流をしにやって来ます。



モンテッソーリ立川こどもの家

7月11日からプール活動が始まりました。6月末から、ドレッシングの容器で水てっぽうをつくり、水を掛け合うなどの活動を取り入れてきました。まだプールの中に入れられないお子さんもプールの周りで水に触れています。夏の終わりにはまた一段と成長することでしょう。活動の幅が広がるようにひとりひとりの個性や成長にあわせて援助していきたいと思えます。



編集後記

メンバーも新たに、各施設より職員が集まり、今年度第一号のおたよりを編集いたしました。今後も子どもたちの様子を随時皆様にご報告していきたいと思えます。ご意見、ご感想等お寄せいただければ幸いです。（広報委員D）